

ご担当先生へ

順天堂医院

平素大変お世話になっております。

このたび、ご担当されている患者様が順天堂医院で行っている MSK-IMPACT 検査を受けることについてご検討されておられます。下記内容についてご確認の上、患者様のご希望がございましたら、診療情報および腫瘍検体のご提供をご検討いただけますようお願い申し上げます。

<MSK-IMPACT 検査とは>

順天堂医院では、米国 Memorial Sloan Kettering がんセンター（以下 MSK がんセンター）の協力を得て、がん細胞に生じた遺伝子異常を解析する「MSK-IMPACT」という検査を開始いたしました（日本業務委託窓口：テーラーメッド社）。これは次世代シーケンサーを用いてがん関連遺伝子 468 個と 18 種類の融合遺伝子及びマイクロサテライト不安定性 (MSI) 判定を一度に調べることができるクリニカルシーケンスと呼ばれる検査方法であり、国内で行われている同様の検査の中では解析する遺伝子の数は最大（約 2 倍）になります（2016 年 10 月現在）。また、正常細胞との比較を行う事から、より正確にがん細胞のみに生じた遺伝子異常を知ることができるのも他の検査方法との違いになります。

順天堂医院では、これら検査結果を踏まえて、推奨される抗癌剤、分子標的薬剤についての提案をいたします。

<検査を受けるにあたってご準備いただくもの>

- ✓ 診療情報提供書
- ✓ 病理診断書の写し
- (腫瘍検体と非腫瘍検体が異なる場合は各々の報告書を提出して下さい)**
- ✓ 腫瘍検体（ホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）標本の未染スライド）
 - 検体は 15mm 角以上、薄切は 4-5 μ m で 21 枚（手術検体が推奨されます）。
 - 腫瘍細胞占有率は 10%以上。
 - 免疫染色を行ったスライドもあれば借用します
- ✓ 非腫瘍検体（ホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）標本の未染スライド）
 - 検体は 15mm 角以上、薄切は 4-5 μ m で 21 枚。

【以下のような標本は不適切】

- 脱灰した標本（骨転移腫瘍や原発性骨腫瘍など）
- 中性緩衝ホルマリン以外の緩衝作用のないホルマリンや酸性ホルマリンで固定された標本
- ホルマリン固定時間が長い（48 時間を超える）標本

- ホルマリン固定後 6 年以上経過している標本
- 過去に受けた放射線治療の照射範囲に含まれていた組織の標本

<検査を受けるにあたってのご注意>

- ✓ 検査費用は自費診療になります（順天堂医院予約診察室での検査内容および検査結果の説明を含めて 615,780 円）。
- ✓ 本検査で有効と期待される薬剤が見つからない場合もあります。
- ✓ 本検査で有効と期待される薬剤が、本邦では治療薬として承認されていない場合があります。
- ✓ 検査結果が判明するまで 1 か月半程度かかります。
- ✓ 治療費用は含まれず、検査後の治療も原則紹介元をお願いしております。
- ✓ 適応外の薬剤を用いる場合には、通常高額な薬剤費を含めた医療費が必要となります。

お問い合わせ窓口

順天堂医院予約診察室 03-5802-1134（直通）

スライドの印字に関するお願い

病理スライドには、以下の記載をお願い致します。

- ①病理番号、②名前英字記載 (名前の最初の一文字を大文字にして、姓は全て記載。例) 順天 太郎:T. Junten)、③標本の枝番、④腫瘍部の標本にはTumor、正常部の標本にはNormalと記載。

① 病理番号

17-00001

② 名前

T. Junten

③ 枝番

1

④ Normal、
Tumor

Normal